

Autumn/Winter 2024

SHISEIDO
PROFESSIONAL

BEAUTY CREATORS INSPIRE



AWAKENED SENSES



Autumn/Winter 2024

BEAUTY CREATORS INSPIRE AWAKENED SENSES

2024年秋冬シーズン、現代を生き抜くのに必要なのは
「イノベーション」と「人間らしさ」。

気づきと目的意識を強く抱きながら楽しさと創造性のための余白を残しつつ
今ここにある現実を大切に生きていく。

自身と取り巻く世の中を受け入れることで、感覚は呼び覚まされる。
見るもの、触れるもの、想像するもの、シェアするものすべてが明瞭かつ意図をもって、
日常に新たな意味をもたらしてくれる。







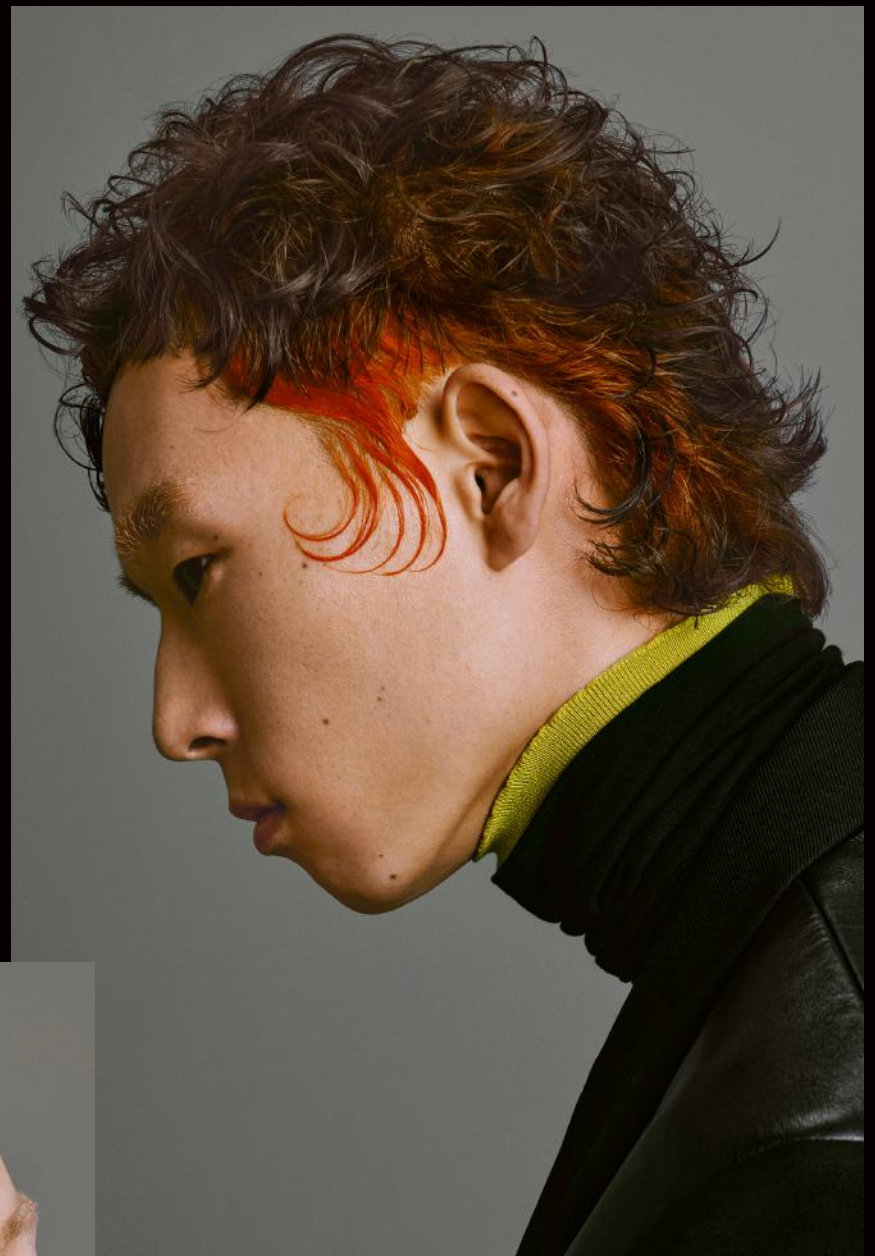
EDGY BOWL CUT

エッジを効かせたクールボブに宿る
現代を生き抜くしなやかな力強さ

耳元までつなげた前髪の直線的ライン、内側と後ろを刈り上げたシャープなカット。カラーはグレーとラベンダーを基調に、根もとにはダークグレー、フロントライン、左右には厚みを変えてブラックを入れ、シックなメリハリを。カットとカラーの絶妙なバランスで見せるダークミステリアスなスタイル。







ORANCE CURL BURST

作り込みすぎない寝癖風スタイルに
テラコッタの生命力を仕込んで

本来のくせ毛を生かし、寝癖風の無造作でナチュラルなショートスタイル。根もと全体に入れたテラコッタカラーが、生き生きとした躍動感を感じさせる。もみあげ部分に入れた鮮やかなオレンジがフレームのアクセントになり、スパイシーなモード感をプラス。



Autumn/Winter 2024

WOMEN'S FASHION TRENDS

From Runways

一見クラシックだけど新しい。日常にポジティブな変化をもたらす服

90年代のミニマルとも、近年のクワイエットラグジュアリーとも違う、特別感のあるリアルクローズが台頭。

そこに新鮮さを生み出すエッセンスとして、クラシックなアイテムやディテールが組み込まれているのが今秋冬の新しさだ。

一見ノーマル、でもどこかアンバランスなスタイリングを楽しみたい。



MIU MIU

1

CLASSIC MIX

オンショルダーのジャケット、ウエストシェイプなど、クラシックなフォルムが復活。パールネックレス、カラフルなリブタイツにグローブなど、合わせる小物もどこか懐かしいムード。肩肘張らない自由なスタイリングで今っぽいルックスに昇華。



ALAÏA

2

BIG OUTER

ここ数シーズンの全体の流れとしては、ビッグシルエットからタイトシルエットへと引き続き移行中。そんな中、とびきりビッグな存在感を放ったのが、顔が埋もれるほどのアウター。エコファー、シアリングなど、ボリュームな素材で華やかに。



CHLOÉ

3

BOHO CHIC

クロエでキャリアをスタートさせたシェミナ・カマリがこのたび古巣に戻り、ブランドのアーカイブをセンシュアルに昇華させたボーホスタイルを提案。レースのブラウス、ラッフルドレス、パッチワークデニム、サボサンダルなどが再燃の兆し。



LOEWE

4

DAILY WARDROBE

シンプルな白シャツ、丸首のセーター、スタンダードなジャケット、トレンチコートなどの定番アイテムを再解釈したスタイル。フォルムを誇張したり、バランスを変えたり、小物でアレンジするなど、一見普通に見えながら、ひとひねりした日常着が充実。



CHANEL

5

BACK TO ORIGIN

メゾンのルーツに立ち返り、本質を捉え直すとする動きがトレンドとして可視化された今シーズン。例えばChanelは、その原点が帽子屋であることを伝える大きなハットやツイードのスーツなどを、未来まで見据えた普遍的なアイコンとしてアップデート。



COMME des GARÇONS
FROM JAPAN

6

NEW BLACK

パワフル、ミニマル、クラシック、エレガント……ファッションの歴史上、ブラックほど多様なスタイルを引き受けてきた色はないかもしれない。そんなブラックの魅力と可能性を改めて見いだしたデザイナーたちが、オールブラックのルックを提案。

Autumn/Winter 2024

MEN'S FASHION TRENDS

From Runways

高度なテーラリングと新しいアイデアで、普遍的なアイテムをブースト

メンズとウィメンズの合同ショーが増える中、誰もが自由を楽しめる普遍的なアイテムがますます増加。

スーツ、デニム、ワークウェアなどの実用的なワードローブを、いかに新鮮に着こなすかが今シーズンらしさの分かれ目に。

ラグジュアリーブランドをラグジュアリー足らしめる、極上のテーラリングと素材使いにも再びスポットが当たっている。



SAINT LAURENT

1

SUITS

ビジネススーツとしても通用するエレガントなテーラリング。ミニマルでスリムなプラダ、ダブルブレストでドレッシーなサンローラン、ダンディなカウボーイ風のルイ・ヴィトンまで、決して無難には見せないスタイリングが勝負どころ。



BALENCIAGA

2

THE AGE OF AI

AIを駆使しても、人の手が入らないクリエイションはきっと行き詰まる。そんな気づきを誘う未来志向のショーが続々。バレンシアガは全方位スキのない没入空間の中で、接着テープで繋げたような服など、即興的な手仕事を際立たせて見せた。



PRADA

3

SHIRT & TIE

きれいなスーツの人気上昇に伴って見直したいのが、合わせるシャツとネクタイ。着こなしのルールを踏まえた上でのどこかアンバランスなスタイリングの違和感に、パンクなマインドを感じる。プラダのネクタイやベルトの使い方をチェック。



LOUIS VUITTON

4

WESTERN

フリンジやアップリケ、ポンチョにジーンズ、カウボーイブーツ、テングロンハットなど、直球のウエスタンスタイルがリバイバル。牽引するのは、ファレル・ウィリアムスが手がけるルイ・ヴィトンだ。取り入れやすいアクセサリーも充実。



VERSACE

5

THIGH-HIGH BOOTS

ロングブーツが堂々復活。バイカーブーツ、乗馬ブーツ、スエードブーツ、ラバーブーツまで多種多様に揃う中、とりわけ存在感を放ったのがサイハイブーツだ。来たる秋冬のコーディネートとして、ジェンダーレスに注目度が高いアイテム。



KENZO
FROM JAPAN

6

DENIM

デニム自体、真新しいものではないが、今季はスーツやブラウス、アウターまで、デニム素材で表現する服のバリエーションが拡大。ケンゾーのように全身デニムでまとめるスタイルもあり、ジェンダーを超えて楽しめるようなアイテムが多数登場。

Autumn/Winter 2024

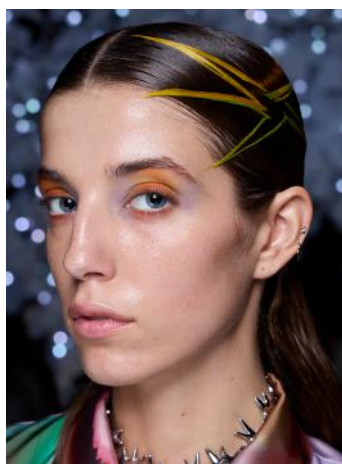
THE BEST HAIR FROM RUNWAYS

マキシマルかミニマルか。強さのあるヘアに注目

リアルクローズに焦点があたった2024-25年秋冬コレクション。服のディテールにデザイナーそれぞれの個性を託し、

日常着に新たなアプローチを見せたように、ヘアに施された印象的なディテールが光る。

タイトでボリュームレスに、あるいは過剰なくらいビッグに——二極化の傾向はここにも見られ、強さを持たせたスタイリングが今季のトレンドだ。



COLLINA STRADA

1

HAIR TATTOO

目元と呼应するカラーで染めたエクステンションをヘアタトゥーのようにデザインしてプラスオン。ほかにもグリーンのメッシュや、レッドのエクステをフリンジのように加えるなど、ポイントでカラーを効かせて。



CHRISTIAN COWAN

2

DRAMATIC VOLUME

クリスチャン コーワンのほかウィリー チャヴァリア、セルジオ ハドソンなど、久々にビッグボリュームヘアが華やかに登場した今シーズン。1970年代のバウンシーやアフロスタイルを思わせるグラマラスさが魅力。



ROKH

3

HYDRO HAIR

2023年を象徴するスタイルともいえる“マーメイドコア”の流れを汲むウェットルック。ツヤ肌と相まってフレッシュなセンシュアリティを醸し出すスタイルは、もはや春夏シーズンだけに限定されない通年仕様に。



TORY BURCH

4

SIDE PART

タイトになでつけたり、サイドをバウンシーに下ろしたり……多様なスタイルでシックに復活したサイドパート。つややかなテクスチャーが主流の今季、センターパートよりもフェミニンで柔らかな表情を演出。



PRADA

5

SLEEK 'N' TIGHT

チムニーネックやビッグショルダーなど、トップにボリュームのある服に合わせて、頭をタイトにまとめたルックが多出。オールバックや編み込み、ローボニーテール、コーンロウなどバリエーションもさまざま。



PROENZA SCHOULER

6

BABY BANGS

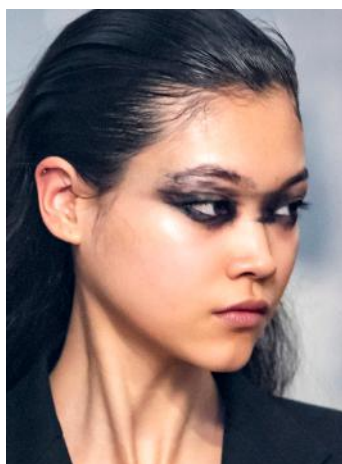
ボリュームのあるトップに負けない強さのある印象的なルックを作るのに、前髪は効果的なツールだ。真っ直ぐ切り揃える、ラフに作る、あるいは編み込みやローボニーテールと組み合わせて、多彩な表情に。

Autumn/Winter 2024

THE BEST MAKEUP FROM RUNWAYS

個性は細部に宿る。一点集中で自分らしさを語らせて

日常着に合わせても違和感のないナチュラルでミニマルなメイクアップが依然主流でありながら、印象的な強さをポイントで表現するのが今季のトレンド。ベースは品よく美しく整えて、自分らしさを生かすパーツを選択。そこにリアルな日常から少し逸脱した遊びを加えることで、退屈さから逃れたフレッシュな表情が生まれる。



HELMUT LANG

1

GRUNGECORE

1990年代のビッグトレンド“グランジメイク”が再来。黒のアイシャドウをスマッジさせたり、黒のアイライナーで囲んだり……ただし肌はクリーンに、唇はナチュラルカラーでヘルシーに仕上げるのが今季のスタイル。

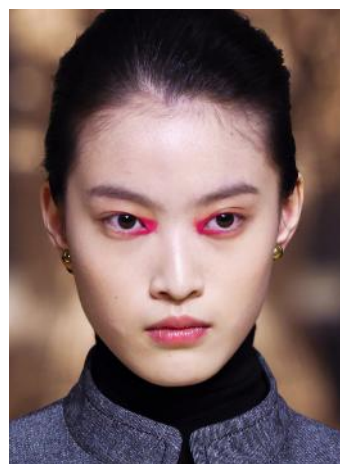


COACH

2

LOW-KEY RICH

メイクアップをしていないかのような究極のミニマルメイクが、何よりもラグジュアリーでモダン——“クワイエットラグジュアリー”な仕上がりは、今季もコーチやエルメス、フェラガモなど数々のランウェイに登場。

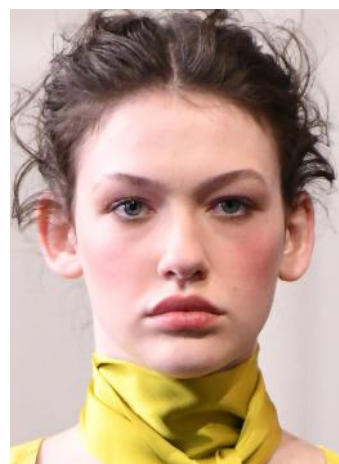


DIOR

3

POINTED EYES

鮮やかなワンカラーで目元を彩る手法は今季、グラフィカルなスタイルで継続。ディオールは目頭のコーナーにショッキングピンクを、エトロは下まぶたをメタリックグリーンで彩るなど、描き方もカラーも多種多彩。



ALEJANDRO ALONSO ROJAS

4

ROSY GLOW

ジェンダーの多様性が重視されるあまり、“女らしさ”の表現への渴望が見られるのが昨今の傾向。今季のメイクアップでいえば、上気したかのようなバラ色の目元～頬～唇。ロマンティックなファッションに合わせて。



DRIES VAN NOTEN

5

RED LIPS

定番の赤リップは今季、多彩なトーンと質感で登場。色調は鮮烈な朱赤からジューシーなクランベリーレッド、グランジなダークレッドなど。質感はマット、グロッシィー、ラッカー、ステインなど表情豊かに唇を彩った。

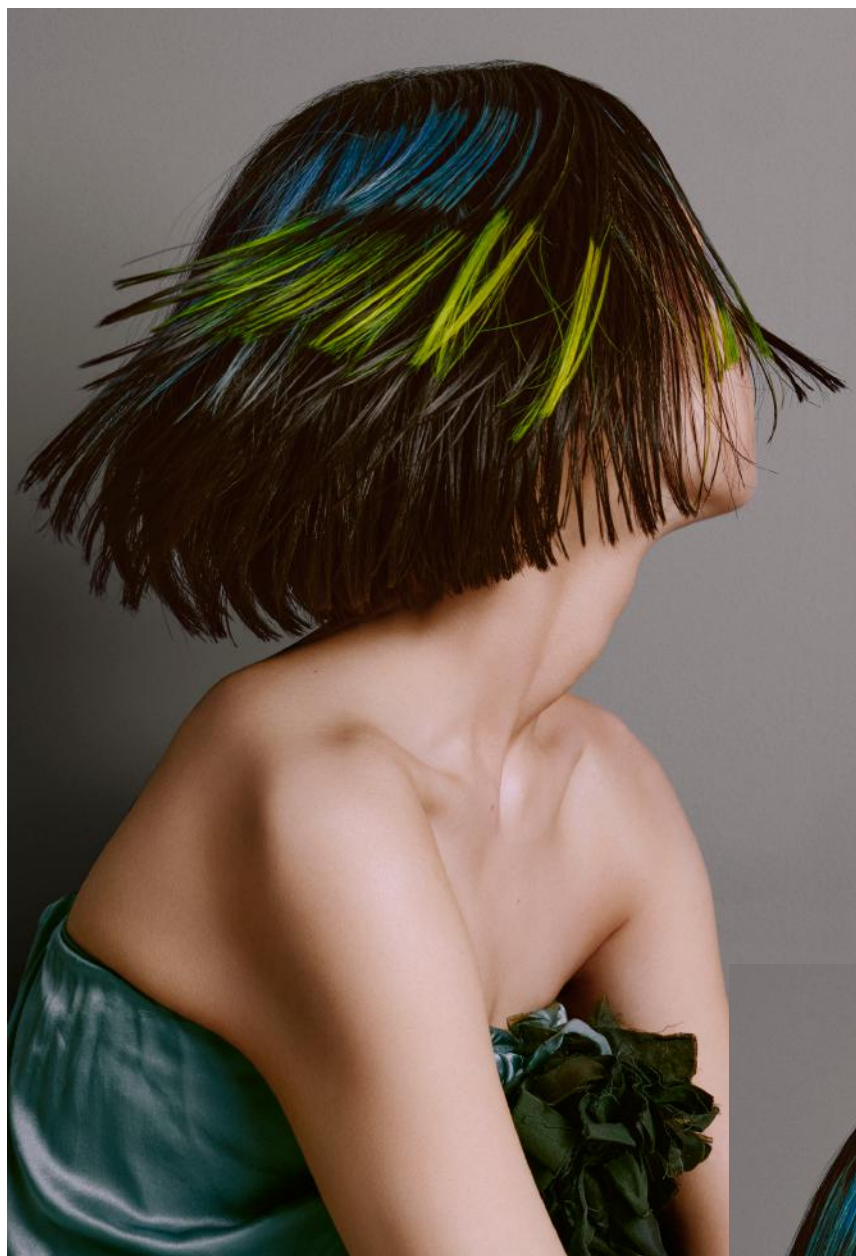


LUDOVIC DE SAINT SERNIN

6

GLASS SKIN

今をときめくK-BEAUTY(韓国ビューティ)はランウェイをも席巻。肌はといえば、一点の曇りもないつんとみずみずしい発光肌。Z世代に大きな影響を及ぼしているK-BEAUTYは、21世紀の美の基準だ。



GEOMETRIC COLOR BOB

絵画的に重ねたカラーで手に入れる
ボブヘアの新たな魅力

シンプルなボブスタイルに個性を持たせるなら、カラーの入れ方にひねりを加えてフレッシュな印象に。青、水色、黄、黄緑の4つのカラーブロックをパズルのように配置し、ボブヘア特有の面の美しさを効果的に活用。髪が揺れることでそれぞれの色が重なり表情を変える美しいニュアンスは、ボブだからこそなせる技。





SHARP CLEAN SHAG

温かみのある中間色を組み合わせ
秋冬に映えるミディアムレイヤー

クリーミーピーチにアプリコット、そしてサンドベージュで作出す穏やかなデザインカラー。中間色の柔らかな印象のままで終わらないのは、フェイスラインのディスコネクションでシャープなラインを出しているから。長めに揃えた前髪から覗く眼差しに意志の強さが滲む。ピーチとベージュの静かなコントラストが作る立体感のあるデザイン。





SOFT FLARES

ナチュラルカラーとさりげないローライトで
こなれ感のあるメンズボブに

前髪にうっすらレイヤーを入れたボブスタイル。“メンズボブ”という、それだけで洒落感のあるスタイルには、明るめのクリームベージュをベースにシンプル＆ナチュラルにカラーデザイン。髪を巻いた時にチラッと覗く程度に入れたアクアとグレーのローライトが、クールな立体感を演出。





SOFT CLOUDY WAVES

鮮やかなカラーをアウトラインで引き立てて
フェミニンなウェーブスタイル

マジックアワーを思わせる、燃えるようなグラデーションカラー。根もとにベージュ、毛先に向かって混ざり合うようにオレンジを入れて、髪にエモーショナルな表情をプラス。しっかりと輪郭を作ったスタイリングが滲むように広がるカラーデザインを際立たせ、フェミニニティを最大限に引き出すロングウェーブ。





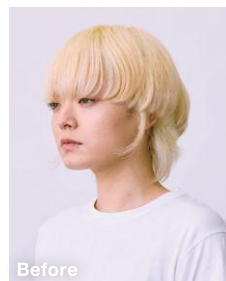
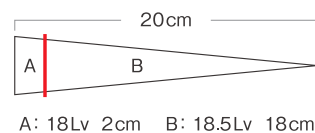
EDGY BOWL CUT



- STYLE

耳元までつなげた前髪の直線的ライン、内側と後ろを刈り上げたシャープなカット。カラーはグレーとラベンダーを基調に、根もとにはダークグレー、フロントライン、左右には厚みを変えてブラックを入れ、シックなメリハリを。カットとカラーの絶妙なバランスで見せるダークミステリアスなスタイル。

Beforeの状態



Before

カラー使用プロダクト



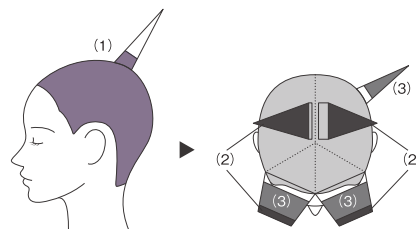
PRIMIENCE

プリミエンス
[医薬部外品]



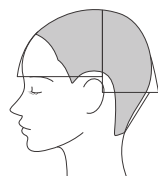
カラーレシビ&プロセス

- | | |
|----------|----|
| (1) C/SM | 4 |
| CL 0 | 3 |
| LA 9 | 2 |
| 3% | |
| (2) C/BK | 3% |
| (3) CL 0 | 4 |
| C/SM | 1 |
| 3% | |



- (1)を全頭根もと約2cmに塗布し、15分放置後シャンプー。
- センターライン右側に約1cmのスライシング幅で、左側に約3cmのスライシング幅で(2)を塗布しホイイルで保護します。
- 前髪の毛先約1cmに(2)をライン状に塗布し、その他の中間から毛先に(3)を塗布します。
- 前髪の中間に(3)を塗布し、10分放置後シャンプー。

カット展開図



SUBLIMIC

サブリミック

- (1) ワンダーシールド
(2) アクアインテンシブ ベルベットオイル

- (1)を髪全体になじませるように塗布し、ドライ。
- ストレートアイロンで面を整えながら軽くカールをつけます。
- ツヤを出すように(2)をなじませ、仕上げます。



(1)

(2)

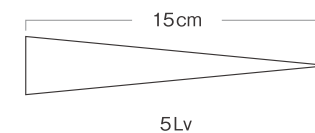


ORANGE CURL BURST

- STYLE

本来のくせ毛を生かし、寝癖風の無造作でナチュラルなショートスタイル。根もとと全体に入れたテラコッタカラーが、生き生きとした躍動感を感じさせる。もみあげ部分に入れた鮮やかなオレンジがフレームのアクセントになり、スパイシーなモード感をプラス。

Beforeの状態



Before

カラー使用プロダクト



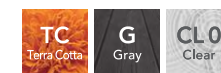
BLEACH MASTER

ブリーチマスター バイ プリミエンス
[医薬部外品]



PRIMIENCE

プリミエンス
[医薬部外品]

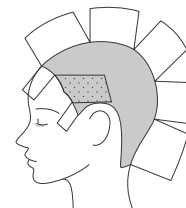


COLORMUSE

カラーミューズ バイ プリミエンス

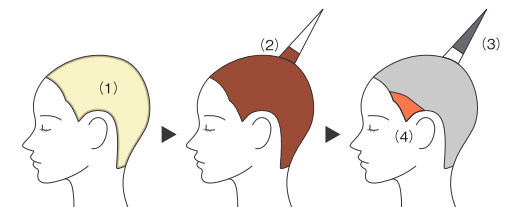


カット展開図



カラーレシビ&プロセス

- | | |
|------------|----|
| (1) POWDER | 1 |
| 6% | 2 |
| (2) TC 9 | 3% |
| (3) G 9 | 2 |
| CL 0 | 1 |
| 3% | |
| (4) ORANGE | |



- (1)を全頭に塗布し、30分放置後シャンプー。
- (2)を全体の根もと約2cmに塗布し、15分放置後シャンプー。
- (3)をもみあげ以外の中間～毛先に塗布します。
- 左右もみあげセクションに(4)を塗布し、15分放置後シャンプー。

スタイリングプロセス&使用プロダクト

STAGE WORKS

ステージワークス

- (1) トゥルーエフェクター(シャイン)

- タオルドライ後、髪全体に(1)をなじませてドライ。
- 動きを強調したい箇所再度(1)を塗布し、全体のバランスを整えながら仕上げます。



(1)





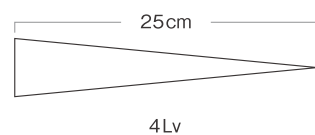
GEOMETRIC COLOR BOB



- STYLE

シンプルなボブスタイルに個性を持たせるなら、カラーの入れ方にひねりを加えてフレッシュな印象に。青、水色、黄、黄緑の4つのカラーブロックをパズルのように配置し、ボブヘア特有の面の美しさを効果的に活用。髪が揺れることでそれぞれの色が重なり表情を変える美しいニュアンスは、ボブだからこそなせる技。

Beforeの状態



Before

カラー使用プロダクト



BLEACH MASTER
by PRIMENCE
ブリーチマスター バイ プリミエンス
[医薬部外品]

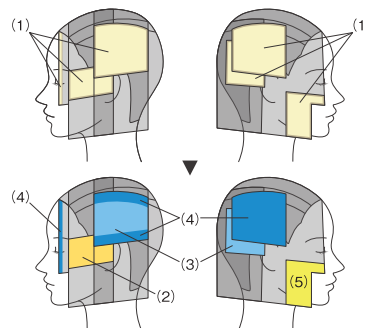


COLORMUSE
by PRIMENCE
カラーミューズ バイ プリミエンス



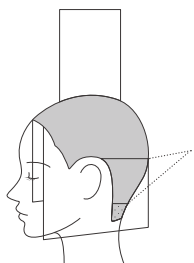
カラーレシビ&プロセス

- (1) POWDER 1
6% 2
- (2) YELLOW 20
ORANGE 1
- (3) CLEAR 10
BLUE 1
- (4) CLEAR 2
BLUE 1
- (5) CLEAR 5
YELLOW 5
BLUE 1



1. ハチ上のセクションを上下2段のスライスに分けます。
各パネル、カラーデザインを入れたい箇所にダウンステムで(1)を塗布し、30分放置後シャンプー。
2. (2)を左側2パネル目のブリーチ箇所に塗布。
(3)を左トップパネルブリーチ箇所に塗布したのち、上下ラインに(4)を指で重ねます。
3. (5)を右フロントに、(3)を右側2パネル目に、
(4)を右トップパネルと左側前髪ブリーチ箇所に塗布し、20分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

サブリミック
(1) エアリーフロー シアーオイル

1. タオルドライ後、(1)を全体に塗布し、ドライします。
2. ストレートアイロンで面を整えます。
3. 再度(1)を重ねづけし、ツヤが出るように
コーミングでなじませ仕上げます。



(1)

SHISEIDO
PROFESSIONAL

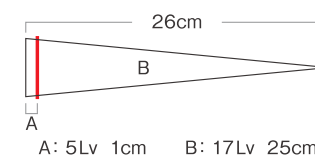


SHARP CLEAN SHAG

- STYLE

クリーミーピーチにアプリコット、そしてサンドベージュで作り出す穏やかなデザインカラー。中間色の柔らかな印象のままで終わらないのは、フェイスラインのディスコネクションでシャープなラインを出しているから。長めに揃えた前髪から視く眼差しに意志の強さが滲む。ピーチとベージュの静かなコントラストが作る立体感のあるデザイン。

Beforeの状態



Before

カラー使用プロダクト

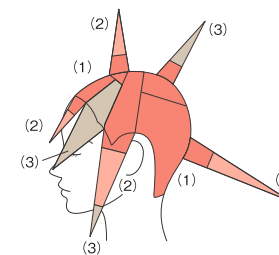


ULIST
by PRIMENCE
アルティスト バイ プリミエンス
[医薬部外品]



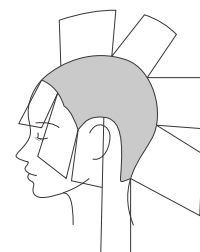
カラーレシビ&プロセス

- (1) CL/0 20
CP/9 10
AP 1
3%
- (2) CL/0 40
CP/9 20
AP 1
3%
- (3) CL/0 60
SBe/9 20
IV/9 1
3%



1. バックセクションの根もとに(1)を塗布します。
2. バックのミドル、アンダーセクションの中間から毛先に(2)を塗布。
3. バックのトップセクションの中間から毛先に(3)を塗布。
4. フロントセクションの根もとに(1)、中間から毛先に(2)を塗布。
5. フロントサイドセクション根もとから毛先に(3)を塗布。
6. サイドセクションの根もとに(1)、中間に(2)、毛先に(3)を塗布し、20分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

サブリミック
(1) アクアインテンシブ
ベルベットオイル

STAGE WORKS

ステージワークス
(2) ニュアンスカールクリーム
(3) ストラクチャーホールドスプレー

1. (1)を髪全体に塗布してハンドブロー。
2. ストレートアイロンで顔まわりは内巻き、
アウトラインは逆巻きにします。
3. (2)を毛先中心にもみ込み、
(3)でバランスを整えて仕上げます。



(1)

(2)

(3)

SHISEIDO
PROFESSIONAL

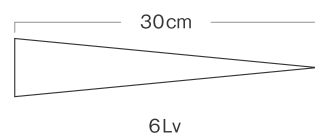


SOFT FLARES

- STYLE

前髪にうっすらレイヤーを入れたボブスタイル。“メンズボブ”という、それだけで洒落感のあるスタイルには、明るめのクリームベージュをベースにシンプル＆ナチュラルにカラーデザイン。髪を巻いた時にチラッと覗く程度に入れたアクアとグレーのローライトが、クールな立体感を演出。

Beforeの状態



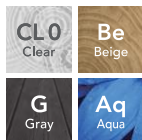
カラー使用プロダクト



BLEACH MASTER
by PRIMIENCE
ブリーチマスター バイ プリミエンス
[医薬部外品]

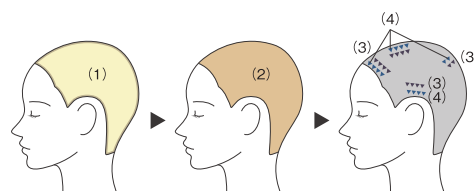


PRIMIENCE
プリミエンス
[医薬部外品]



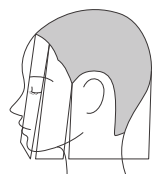
カラーレシビ&プロセス

- (1) POWDER 1
3% 2
- (2) CL 0 3
Be 9 1
3%
- (3) G 7 3%
Aq 7 3%



1. 中間から毛先に(1)を塗布、10分後根もとにも塗布し、30分放置後シャンプー。
2. 根もとに(2)を塗布、10分後中間から毛先にも塗布し、25分放置後シャンプー。
3. 前髪、トップセクション、耳まわりにウィービングで(3)と(4)を交互に塗布し、25分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

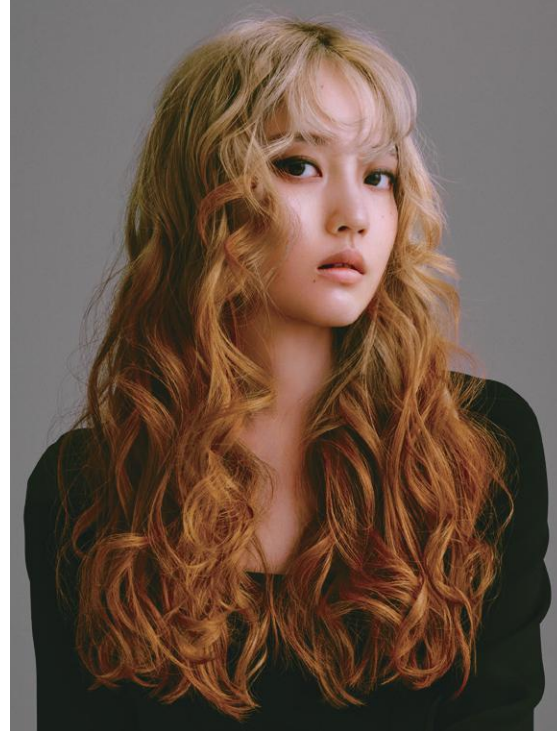
STAGE WORKS

ステージワークス
(1) ミディアムベースト

1. バックのアンダーからミドルセクションと前髪を26mmのカールアイロンで波巻きにします。
2. トップセクションはリバース方向に縦に巻きます。
3. 全体に(1)をもみ込み、動きが出るようにセットします。



SHISEIDO
PROFESSIONAL



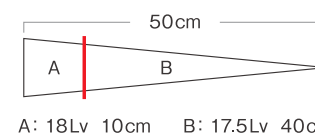
SOFT CLOUDY WAVES



- STYLE

マジックアワーを思わせる、燃えるようなグラデーションカラー。根もとにベージュ、毛先に向かって混ざり合うようにオレンジを入れて、髪にエモーショナルな表情をプラス。しっかりと輪郭を作ったスタイリングが滲むように広がるカラーデザインを際立たせ、フェミニニティを最大限に引き出すロングウェーブ。

Beforeの状態



カラー使用プロダクト

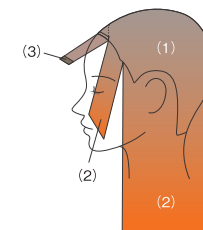


ULIST
by PRIMIENCE
アルティスト バイ プリミエンス
[医薬部外品]



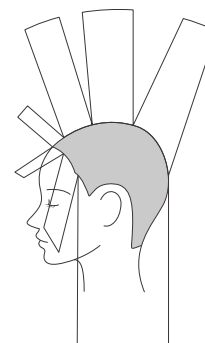
カラーレシビ&プロセス

- (1) CL/0 3
TG/9 1
3%
- (2) AP 3%
- (3) CL/0 2
TG/5 1
3%



1. 顔まわり以外の根もと～中間15cmにグラデーション状に(1)を塗布します。
2. 顔まわりはレイヤーの角度に沿って引き出し、根もとから中間に(1)をグラデーション状に塗布します。
3. 前髪以外の毛先部分に(2)をラインをばかすように塗布。
4. 前髪の内側2cmのスライスを分け取り、毛先1cmのラインに(3)を塗布し、ホイイルで保護します。30分放置後、シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

サブリミック
(1) ワンダーシールド
(2) ルミノフォース プリリアンスオイル

STAGE WORKS

ステージワークス
(3) ラスタースプレー

1. タオルドライ後、(1)を全体に塗布し、なじませます。
2. 毛先中心に(2)を塗布し、コーミングでなじませた後ドライ。
3. 32mmのアイロンでリバース・フォワードと交互にウェーブをつけ、最後に(3)をスプレーし、ツヤやかに仕上げます。



SHISEIDO
PROFESSIONAL



<https://www.shiseido-professional.com/>



Official Instagram Account
@shiseidopro_jpn

▶▶▶ Click



PRIMIENCE Instagram Account
@shiseidopro_primience

▶▶▶ Click



Official YouTube Account
@shiseidoprofessionaljapan4860

▶▶▶ Click



Official LINE Account

▶▶▶ Click